

2017年3月期 第2四半期 決算概況



キャリア実現支援企業

東証JASDAQ : 9696

<http://www.with-us.co.jp>





目次

ウィザスについて

トップメッセージ	．．．．．	P.3
ウィザスとは	．．．．．	P.4
会社概要	．．．．．	P.5

2017年3月期 第2四半期決算業績概要（連結）

業績の概要	．．．．．	P.6
-------	-------	-----

事業別概況

事業別業績	．．．．．	P.10
事業別生徒数推移	．．．．．	P.11
学習塾事業	．．．．．	P.14
高校・キャリア支援事業	．．．．．	P.15
その他	．．．．．	P.18

株主還元・CSR活動

株主還元について	．．．．．	P.23
CSR活動等の実施	．．．．．	P.24

トップメッセージ

私たちは、ウィザス独自の「意欲喚起教育（EMS※）」の実践を通じ、生徒の「自他肯定感」向上を育むために、一人ひとりの生徒の状況や個性を尊重し、生徒自身が自分を意欲喚起でき、自己成長し続ける力を養える教育をめざして参ります。

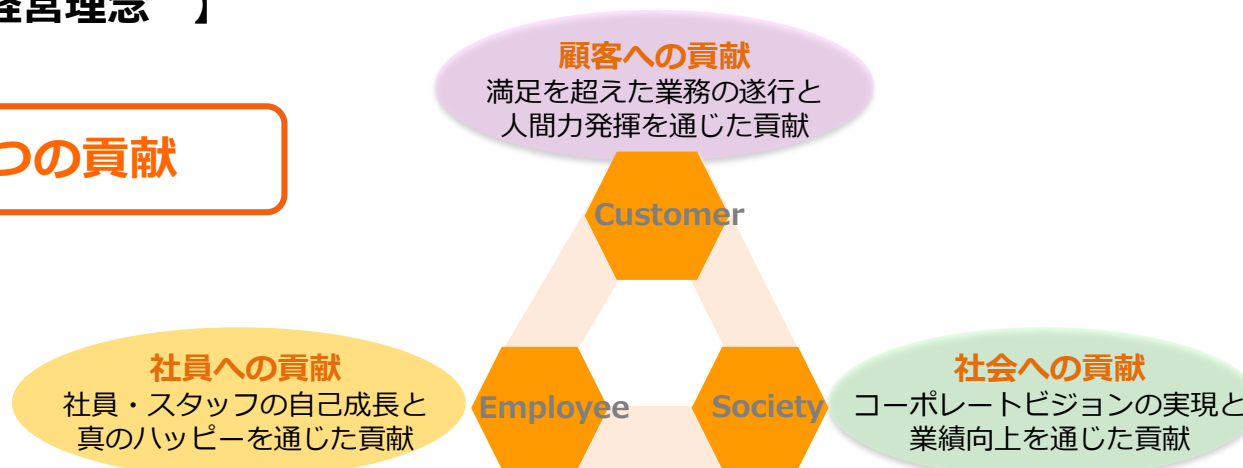
※the Educational Method of Self-motivation（P.14ご参照）



代表取締役社長
生駒 富男

【 経営理念 】

3つの貢献



【 コーポレートビジョン 】

“社会で活躍できる人づくり”を実現できる最高の教育機関をめざす

ウィザスとは – What is “With us” –

ウィザスグループは、当社および連結子会社10社、並びに関連会社3社で構成されています。学習塾事業、高校・キャリア支援事業、その他（ICT教育・能力開発事業、企業内研修ポータルサイト事業）など多様な教育ニーズに対応した幅広い分野での総合教育サービスを提供しております。



学習塾事業

幼児から高校生までを対象とする教科学習指導・進学受験指導並びに能力開発指導
(株)ウィザス、(株)フォレスト、(株)佑学社、(株)学習受験社



高校・キャリア支援事業

広域通信・単位制高等学校の運営及び高等学校卒業程度認定試験（高認）合格のための受験指導、保育士・介護福祉士等の資格取得に向けた学習支援、海外からの留学生を対象にした日本語教育サービス等

(株)ウィザス、(株)エヌ・アイ・エス



その他

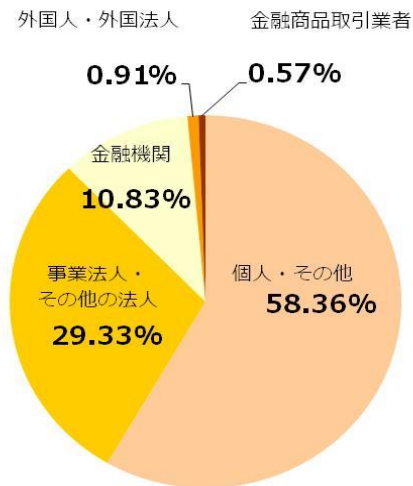
WEB上での速読を主体とする各種教育サービス、ICTソリューションサービスを提供するICT教育・能力開発事業、企業向け社員教育コンテンツの開発・販売を行う企業内研修ポータルサイト・コンテンツ開発販売事業、ランゲージサービス事業等

(株)SRJ、(株)V-Growth、(株)レビックグローバル、(株)吉香等

会社概要

- **会社名** : 株式会社ウィザス (With us Corporation)
- **設立** : 1976年7月10日
- **資本金** : 1,299百万円
- **本社所在地** : 大阪府中央区備後町3丁目6番2号 KFセンタービル
- **従業員数** : 652 名 (男 : 509 名 女 : 143 名) ※2016年9月末現在 (連結)
- **上場市場** : 東証JASDAQ
- **発行済み株式数** : 10,440,000株 ※2016年9月末現在

■ 株主構成 :



	株主名 (2016年9月末)	所有株式数(千株)	議決権比率
1	株式会社ヒントアンドヒット	1,238	12.30%
2	株式会社増進会出版社	626	6.22%
3	ウィザス社員持株会	530	5.27%
4	堀川 直人	466	4.63%
4	堀川 明人	466	4.63%
6	堀川 一晃	271	2.69%
7	株式会社明光ネットワークジャパン	267	2.66%
8	株式会社みずほ銀行	267	2.65%
9	浜興産株式会社	224	2.23%
10	株式会社市進ホールディングス	220	2.18%

(注1) 上記は持ち株比率で表記しております。
(注2) その他には自己株式を含んでおります。

(注1) 上記のほか、自己株式が377千株あります。
(注2) 議決権比率は自己株式を控除して計算しております。

業績の概要

中核事業である学習塾事業および高校・キャリア支援事業においては、急変する市場・競争環境に適合すべく、地域特性・ニーズを踏まえたコース設計と業態開発、新規7校の新店(1校は子会社化)と移転2校の設備増強、環境変化に柔軟かつ俊敏に運営が行える人材の育成を強力に推進してまいりました。また、今後の更なる事業領域拡大に向け、平成28年4月に実施しました株式会社エヌ・アイ・エス(I.C.NAGOYA)の完全子会社化による日本語教育サービスへの参入に続き、9月には株式会社吉香の完全子会社化による通訳・翻訳および高度人材派遣サービスへの進出を果たしております。

先行投資とはなりますが、次代に向けた成長戦略実行のため、これらの施策を実施してまいりました結果、売上高は6,474百万円(前年同期比3.9%増)、営業利益は△52万円(前年同期は営業利益98百万円)、経常利益は△39百万円(前年同期は経常利益116百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は△83百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益127百万円)となりました。

(百万円)	2016.3 2Q実績	構成比	2017.3 2Q実績	構成比	対前期増減		(参考) 通期	
					金額	%	2016.3 実績	2017.3 計画
売上高	6,231	—	6,474	—	243	3.9%	13,679	14,281
売上原価	4,798	77.0%	4,962	76.6%	164	3.4%	9,721	10,433
売上総利益	1,432	23.0%	1,512	23.4%	80	5.6%	3,957	3,847
販売管理費	1,334	21.4%	1,564	24.2%	230	17.2%	2,817	3,051
営業利益	98	1.6%	△ 52	-	△ 150	-	1,140	796
経常利益	116	1.9%	△ 39	-	△ 155	-	1,167	745
親会社株主に帰属する四半期・当期純利益	127	2.0%	△ 83	-	△ 210	-	540	349

(注) 当社グループの収益構造は、新年度開始となる4月の生徒数が通期で最も少なく、その後増加していくことや、夏・冬・春の季節講習会時に売上高が通常月以上に増加することに加え、固定費や広告宣伝費等の先行投資的費用が発生するため、季節的な収益変動要因があります。

2017年3月期 第2四半期 決算データハイライト（連結 BS）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて976百万円減少し、10,824百万円となりました。

（単位：百万円）

	2016年3月期 末実績	4Q	2017年3月期 2 Q末実績
流動資産		5,668	4,030
現金及び預金		4,626	3,176
受取手形及び売掛金		178	257
その他流動資産		864	597
有形・無形固定資産		3,211	3,857
投資等		2,921	2,937
資産合計		11,800	10,824
流動負債		4,698	3,982
短期借入金・1年内返済予定の長期借入金・1年内償還予定の社債		780	879
前受金		2,692	1,811
未払法人税等		49	129
その他流動負債		1,177	1,163
固定負債		2,135	2,127
長期借入金・社債		310	257
その他固定負債		1,825	1,870
純資産合計		4,966	4,715
負債・純資産合計		11,800	10,824

2017年3月期 第2四半期 決算データハイライト（連結 CF）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同期末と比べて204百万円増加し、3,072百万円となりました。

（単位：百万円）

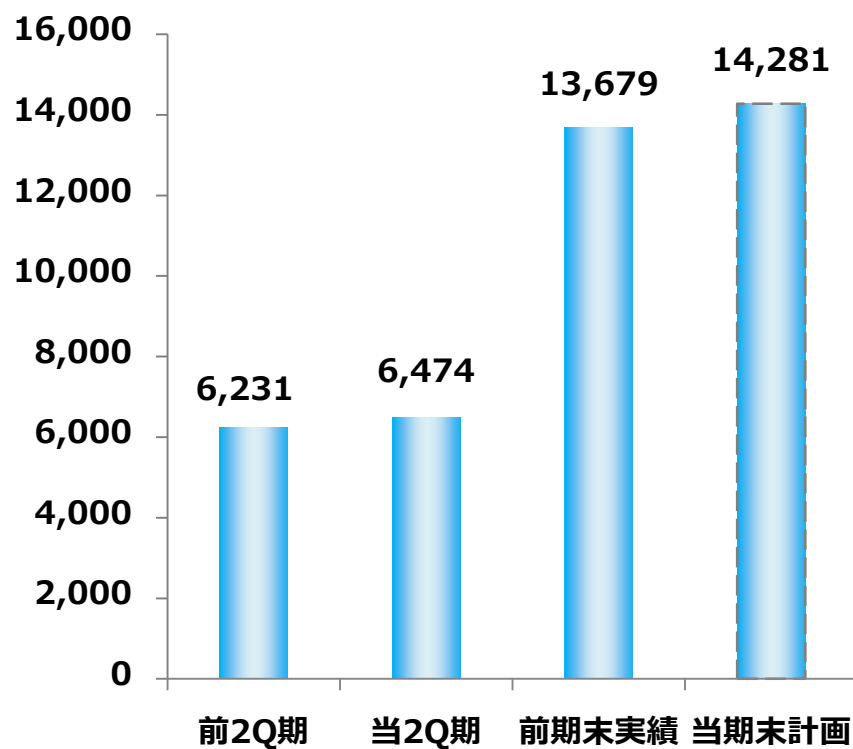
	2016年3月期 2 Q累計実績	2017年3月期 2 Q累計実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,055	△ 552
投資活動によるキャッシュ・フロー	199	△ 809
財務活動によるキャッシュ・フロー	△125	△ 111
現金及び現金同等物の期末残高	2,868	3,072

<p>➤ 営業活動によるキャッシュフロー</p> <ul style="list-style-type: none"> 税金等調整前四半期純利益 減価償却費 売上債権の増加額 前受金の減少 	<p>△5億52百万円</p> <p>△34百万円</p> <p>1億78百万円</p> <p>3億82百万円</p> <p>△9億44百万円</p>	<p>➤ 財務活動によるキャッシュフロー</p> <ul style="list-style-type: none"> 借入金の増減 社債の償還による支出 配当金の支払による支出 	<p>△1億11百万円</p> <p>60百万円</p> <p>△70百万円</p> <p>△80百万円</p>
<p>➤ 投資活動によるキャッシュフロー</p> <ul style="list-style-type: none"> 有形固定資産の取得による支出 無形固定資産の取得による支出 連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 保険積立金の積立による支出 	<p>△8億 9百万円</p> <p>△1億 5百万円</p> <p>△49百万円</p> <p>△5億95百万円</p> <p>△90百万円</p>		

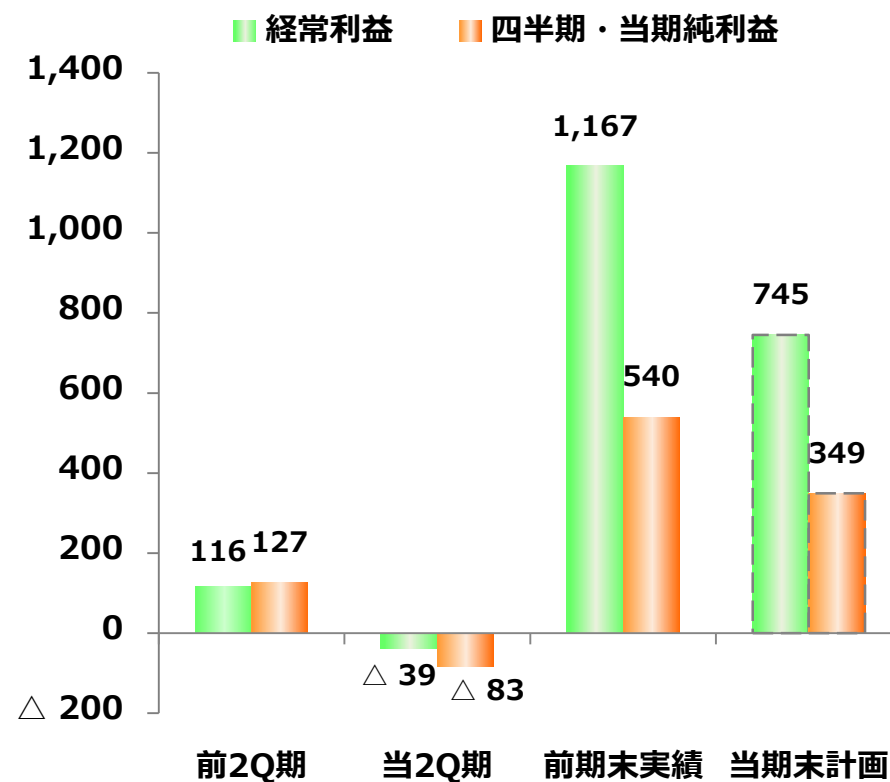
連結業績推移 2017年3月期 第2四半期

(単位：百万円)

売上高



経常利益/親会社株主に帰属する 四半期純利益・当期純利益



事業別業績 2017年3月期 第2四半期（連結ベース）

（単位：百万円）

2Q	学習塾事業		高校・ キャリア支援事業		その他		調整額	
	前2Q期	当2Q期	前2Q期	当2Q期	前2Q期	当2Q期	前2Q期	当2Q期
売上高	3,747	3,777	1,791	1,944	692	752	-	
営業利益	465	395	50	102	65	74	△ 483	△ 623
校舎数	173校	175校	38校	39校	7校	7校	-	
生徒数	18,601名	17,942名	6,064名	6,683名	383名	431名	-	

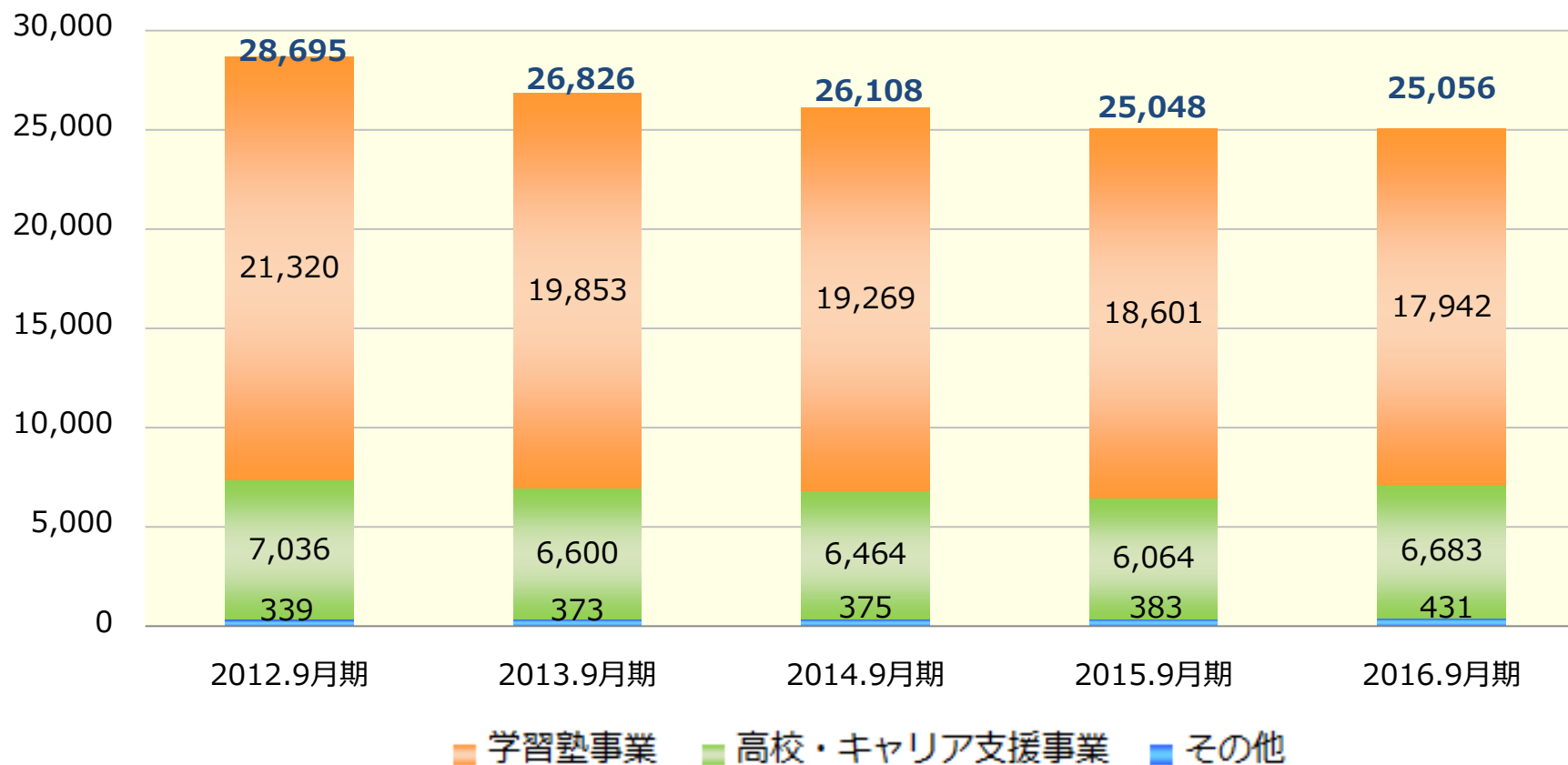
（ご参考）

通期	学習塾事業		高校・ キャリア支援事業		その他		調整額	
	前期実績	当期計画	前期実績	当期計画	前期実績	当期計画	前期実績	当期計画
売上高	8,048	8,146	4,182	4,356	1,448	1,780	-	-
営業利益	1,289	1,168	704	636	104	45	△957	△1,053
校舎数	170校	179校	37校	39校	7校	7校	-	-
生徒数	19,276名	19,184名	6,332名	6,637名	395名	419名	-	-

- （注）・ 営業利益は本社経費配賦前営業利益となります。
 ・ 生徒数は期中平均生徒数を記載しております。
 ・ 「その他」の校舎数及び生徒数は幼児英語教育分野の校舎数・生徒数を記載しております。

事業別生徒数推移 第2四半期 期中平均生徒数（連結）

（単位：人）



- （注）・上記数値は正規在籍者のみを掲載しており、講習会等の行事参加者は除いております。
- ・高校・キャリア支援事業には、日本語教育等の生徒数（㈱エヌ・アイ・エス）を含んでおります。
- ・その他は、幼児英語・英語学童保育の生徒数を記載しております。

校舎展開

ニーズに応じた移転・増床と経営効率向上を目指した統合を行うことにより、適正な校舎規模を確保し、競合力の強化とドメインの拡大を図っております。競争力強化及び新分野進出により前期末より5校増加となりました。

全国221校

(2016年9月末現在)

沖縄地区 11校

近畿地区 168校

新規

大学受験合格
指導会 阿倍野校



SUR大学受験合格
指導会 松原校



ファロス
野田阪神駅前教室



ファロス
阿波座教室



北海道地区 1校

東北地区 4校

関東地区 13校

新規

第一学院 秋葉原校



中国地区 3校

中部・東海・北陸地区 13校

新規(子会社化)

I.C.NAGOYA



四国地区 1校

九州地区 7校


















新規

ガゼット 石垣登野城校



事業展開

当社グループは、総合教育サービス企業として、対象や地域を超え、多様な顧客ニーズに対応するブランド形成を図っております。グローバル化の進展に対応し、2016年4月からの日本語教育サービス(株エヌ・アイ・エス)に続き、9月より通訳・翻訳等の語学サービス及び各種スペシャリスト派遣サービス(株吉香)の提供を開始いたしました。

セグメント	会社名/事業	ブランド名	対象				
			幼児	小学生	中学生	高校生	社会人等
学習塾事業	(株)ウィザス	 第一ゼミナール		←→			
		 ファロス個別指導学院		←→			
		 第一ゼミ パンシード PASSseed		←→			
		 スクールZ		←→			
		 合格指導会 (シュール)		←→			
		 MedSUR (メッドシュール)				←→	
	(株)学習受験社	 GAZ (ガゼット)	←→				
	(株)佑学社	 佑学社・大阪教育		←→			
	(株)フォレスト	 国語学習会		←→			
高校・キャリア支援事業	(株)ウィザス	 第一学院高等学校				←→	
		 第一学院専門カレッジ					←→
	(株)エヌ・アイ・エス 日本語教育サービス	 ic NAGOYA					←→
その他	幼児教育、ICT教育・能力開発、広告、企業内研修サービス等	 Blue Dolphins Daichi Progress	 SRJ		 V-Growth		 株式会社ブリーズ KIKKO
			 株式会社レビックグローバル				

学習塾事業： 独自の教育プログラムによる顧客満足度の追究

意欲喚起教育EMS (the Educational Method of Self-motivation)

意欲喚起教育EMSとは、当社40年間の指導経験に、最新の脳科学の研究成果を活かした第一ゼミナール独自の教育プログラムです。



生徒が本気の全力を発揮するために、学習することの意義を理解し「自分ならできる」と信じて前向きに勉強することの大切さを授業が始まる前の短い訓話や年4回の意欲喚起特別講座で伝えています。

さらに、キャリア教育講座「みらい」を活用し、実生活の身近なテーマから社会のしくみを学び、今の勉強が自分の将来に役立つと実感し、将来を真剣に考える講座を開催しています。

「目標は志望校合格、目的は社会で活躍できる人づくり」を開塾当初から掲げる第一ゼミナールの理念を色濃く反映したこのプログラムは、民間教育機関として初の「経済産業省キャリア教育アワード」を受賞しております。

このように将来も見据えたEMSにより、単に教科学習だけに終わらず、自己成長を図る高付加価値教育サービスを提供することで、社会で活躍できる人づくりに貢献すると共に、顧客満足度の向上をはかってまいります。



2016年3月期	実績
校舎数	170校
期中平均生徒数	19,276名
売上高	8,048百万円
営業利益	1,289百万円



2017年3月期 (通期計画)	
校舎数	179校
期中平均生徒数	19,184名
売上高	8,146百万円
営業利益	1,168百万円

(注1) 共通費用配賦前の営業利益

高校・キャリア支援事業

高校事業

第一学院高等学校

構造改革特区の認定を受けた株式会社立の広域通信制高校で東日本に「高萩本校」、西日本に「養父本校」の2校を設置しております。様々なニーズに対応したコースや教育プログラムを開発・開講し、全国47都道府県から入学することができます。

設置コース

- 通学型 キャンパスコース、本校通学コース、
専門コース(芸能・スポーツ・美容・ペット)、個別指導コース
- 通信型 Mobile HighSchool（通信コース）、高認取得コース



高萩本校（茨城県）



養父本校（兵庫県）

2016年3月期 実績

校舎数	37校
期中平均生徒数	6,332名
売上高	4,182百万円
営業利益	704百万円



2017年3月期（通期計画）

校舎数	39校
期中平均生徒数	6,637名
売上高	4,356百万円
営業利益	636百万円

（注1）共通費用配賦前の営業利益

キャリア支援事業

第一学院専門カレッジ

社会人を対象に週1～2日の通学で保育・介護・ビジネスの資格取得に向けた授業を実施しております。実技授業により、現場で活用できる知識を身につけることが可能です。

設置コース：保育士コース、介護福祉士実務者研修、キャリアデザインコース



主に海外からの留学生を対象にした日本語教育サービスを提供しております。国籍・性別・年齢を超えてコミュニケーション能力を上げ、世界的な視野で考え行動できる人材を育成し、地域社会・国際社会に貢献してまいります。

高校・キャリア支援事業：第一学院高等学校の特色ある専門コース

通信制高校としての特色を活かして、生徒の興味・関心に応じた魅力あるコースを展開し、多様なスペシャリスト育成に貢献してまいります。



芸能コース

渡辺プロダクショングループの『渡辺高等学院』と提携し、プロ講師から芸能デビューに直結したカリキュラムの専門レッスンを受けることができます。



スポーツコース (サッカー)

学習時間とトレーニング時間をフレキシブルに確保し、文武両道のアスリートを育成します。2014年度には全国高等学校サッカー選手権大会全国大会に出場しました。



美容コース

美容専門学校との提携により、プロの美容師になるための専門知識に加え、エステやネイル・メイクなど、「美」に関するプロの技術を実践的に身につけます。



ペットコース

ペットに関する分野で活躍するために、ペット業界のビジネスからペットの美容・健康に関することまで幅広い専門知識を身につけます。

トピックス： HONDA ESTILO株式会社（大阪府吹田市）と業務提携

～サッカーを通じた『社会で活躍できる人づくり』の実現に向けて～

HONDA ESTILO株式会社と業務提携

当社が運営する通信制高校「第一学院高等学校」は「SOLTILO FC U-18 (<http://soltilo-fc.jimdo.com/>)」に所属するユース年代（高校生）の選手への高校卒業に向けた学習サポートを行ってまいります。

現在、千葉県幕張市にある「ZOZOPARK HONDA FOOTBALL AREA」を活動拠点とするSOLTILO FC U-18の選手数名が、当校 千葉キャンパスにおいて、サッカーでの夢実現と高校卒業を目指して学んでいます。通信制の特性を活かし“学び”の多様化にいち早く応えてきた当校においては、サッカーを中心とした高校生活を送ることが可能となり、本田圭佑選手がコンセプトとしている『世界で活躍できる選手の育成』と、当社がコーポレートビジョンとして掲げている『社会で活躍できる人づくり』の実現を目指してまいります。



【HONDA ESTILO株式会社 会社概要】

「スポーツを通して、世界中の人々に夢や希望を与え続ける」という会社理念のもと、アスリートマネジメントやサッカー・スクール事業、幕張の「ZOZOPARK」の施設運営事業を展開しています。

サッカー・スクールは、現在日本で64校・上海で2校を展開しており、約4000名の子ども達が在籍しています。

また、「世界で戦える選手の育成」をコンセプトに展開している育成型クラブ「SOLTILO FC」では、HONDA ESTILO株式会社が経営権を持つオーストリア2部のSVホルンをピラミッドの頂点に、ユース・ジュニアユース・スクールと一貫した指導方針で運営しています。

その他

ICT教育・能力開発事業

- インターネットを介した小・中・高校生対象の授業だけでなく、資格講座や語学講座等、職業・年齢を問わず品質の高い講座を提供しております。
- 能力開発「右脳速読講座」を全国教育機関に提供するとともに、企業や一般社会人向けコンテンツも制作・販売しております。
- 小学生向けにe-ラーニング教材での英語学習とアメリカ在住の講師とのオンラインでの英会話レッスンによる英語学習プログラムを提供しております。
- キャリア教育コンテンツ“意欲喚起教育テキスト・映像教材（DVD）”を全国教育機関へ販売しております。
- ICT機器やアプリ、ネットワーク構築等のソリューションサービスをワンストップで提供しております。



2016年3月期 実績

売上高	1,448百万円
営業利益	104百万円



2017年3月期（通期計画）

売上高	1,780百万円
営業利益	45百万円

（注1）共通費用配賦前の営業利益

企業内研修ポータルサイト事業

- 法人向けe-ラーニングサービスを展開し、社員育成・能力開発教材コンテンツを提供しております。
- 映像を活用し、学習スタイルや学習方法に応じた最適な教育の開発と学習環境のプロデュース、ナレッジ継承などによる人材育成及び人材開発をサポートします。



その他 ICT教育・能力開発事業

ICT教育・能力開発では、速読を当社独自で応用・研究し、小学生から社会人までの幅広い年齢層を対象に、速読力を総合的に鍛える『速読速解システム』等を制作・販売するとともに、ICTを活用したオンライン英語コースを販売しております。さらにICT教育ソリューション・サービス事業として学習塾・学校の講座運営にあわせてベストなICT教育環境の導入から環境支援、運用支援をワンストップサービスで提供しております。

速読速解システム



脳科学に基づき開発されたトレーニングを行い、長文を早く正確に読み解き記憶する能力を最大限に引き出し、記憶力や理解力、入試での合格力を高めます。学習塾や公私立学校等1,900校以上の教室で導入され、受講者は累計22万人を突破しております。この速読メソッドを活用し、入試英語に必須の長文読解に特化した「速読英語」と社会人を対象とした資格取得やTOEIC対策に特化した「ビジネス資格90」があり、幅広い年齢層に対応しております。



オンライン英語コース



e-ラーニング教材による学習と、アメリカ在住の先生とオンラインでリアルタイムに会話学習を行います。「聞く」・「話す」・「読む」・「書く」の4技能をバランスよく習得し、英語のコミュニケーション能力を育みます。

ICT教育ソリューション・サービス



教育企業グループの経験と実績をもとに、現場の指導者の視点から様々な教育コンテンツを紹介し、それらを円滑に運用可能な端末やコンテンツに導入し、ICT授業に必要なインフラの構築、導入後の端末管理やネット環境などを一括でサポートするサービスです。

その他 企業内研修ポータルサイト事業

法人向けeラーニングサービスの提供



三井住友銀行をはじめとするメガバンクや国内自動車メーカー等の大手製造業、近鉄エクスプレス、アサヒビール等の大企業における社員研修や営業研修等の法人向けオンライン教育サービスを提供しております。映像などのリッチメディアを活用した教材の開発から、学習環境のプロデュース、ナレッジ継承による人材育成・開発を行っております。

主な製品

■eラーニング教材

- ・ 内定者/新入社員研修・教育
- ・ 人材育成（グローバル人材、管理職、若手中堅社員向け）
- ・ 営業研修
- ・ 会計/財務
- ・ MBA
- ・ 語学（TOEIC/中国語）
- ・ PC/ITスキル
- ・ CSR/コンプライアンス



■外国人スタッフ向け研修教育（多言語）

- ・ 英語
- ・ 中国語
- ・ ベトナム語



その他 幼児教育

世界を舞台に活躍できる人づくりを目指して、本格的な英語教育に力を入れています。学校英語の枠組みとは異なった本物のコミュニケーション能力を育む教育スタイルを実践しております。英語教育の早期化及び学童保育の必要性といった社会のトレンドにいち早く対応いたします。

幼児期からの英会話能力養成



英語で保育、英語で授業をモットーに、経験豊かな外国人との生活面を含めたふれあいを通じて、英会話能力を育成いたします。国際感覚を養成する英語環境の保育施設を大阪府および兵庫県に展開しております。

英語指導を行う学童保育施設の展開



学童保育に加え、ますます進む国際化、英語必須時代に向けて、国際社会で通用するコミュニケーション力を養成するカリキュラムを展開し、英語の4技能（聴く・話す・読む・書く）を本格的に指導します。さらに、映像・ICT教材を活用し、児童の学習意欲を引き出すとともに、ITリテラシー*の向上もはかります。大阪府に2校展開しております。



*1: パソコン・インターネットに関する利用能力

トピックス：通訳・翻訳サービスへの進出！

通訳、翻訳等の語学サービス及び各種スペシャリスト派遣サービスの提供

当社グループは2016年9月に株式会社吉香の完全子会社化により、通訳、翻訳及びスペシャリスト派遣等のサービス分野に進出しております。

株式会社吉香は、通訳・翻訳の分野において90カ国にのぼる多様な言語対応、24時間体制での国際報道サポート等、独自性の高い事業運営を手掛けているとともに、昨今のインバウンド対応において、語学力の高い人材の派遣等、高度人材サービスを展開している企業です。

今後、当社グループは、グローバル化の進展を見据え、中長期的にグローバル人材の育成を目指しており、同社の経営資源と当社グループの教育ノウハウを融合することで、両社の企業価値最大化を目指します。

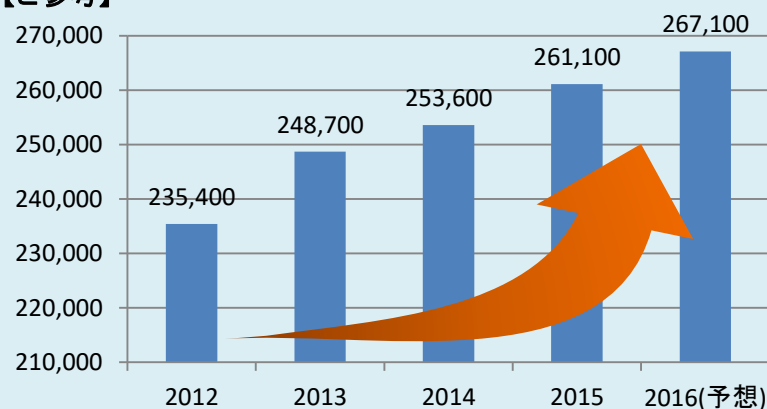
【株式会社吉香 会社概要】



- 所在地 東京都千代田区永田町2丁目11-1
山王パークタワー 3F
- 代表者の役職・氏名 代表取締役社長 生駒 富男
- 事業内容 通訳、翻訳等の語学サービス及び各種人材派遣事業等
- 設立年月日 1979年6月
- 資本金 2,000万円
- 株主構成 (株)ウィザス 100%
- 最近のトピックス
 - ・オバマ大統領来日時の通訳
 - ・大リーグ イチロー選手が日米通算安打数でピート・ローズ氏の大リーグ記録を超えた際のコメント通訳
 - ・ヒラリー・クリントン氏 大統領候補 指名受諾演説通訳
 - ・リオ・オリンピック ウサイン・ボルト選手インタビュー通訳 等

【ご参考】

通訳・翻訳ビジネス市場規模推移



出所：矢野経済研究所

通訳・翻訳ビジネスの市場規模は年々拡大しており、2015年は約2,611億円、2016年の予想規模は2,671億円と前期比2%増となっています。また、2015年年度の訪日外国人観光客数は、前年比47.1%増の1,973万人で、過去最高だった14年の1,341万人を大幅に上回り、企業や自治体の外国語対応も進むと想定されています。



株主還元

当社は株主の皆様に対する利益還元を最重要課題のひとつと考えております。利益配分の基本方針としては、将来における企業成長と経営環境の変化に対応するための投資や強固な財務体質構築に資する内部留保金を確保しつつ、継続的な配当による株主の皆様への利益還元を積極的に行い、安定配当に主眼をおいた考え方を取っております。

期	年度	1株当たり配当金 (円)	純資産配当率 (%)	利回り ^(注1) (%)	株価 (期末終値) (円)
38期	2014.3	13.50	3.4	4.82	280
39期	2015.3	13.50	3.2	4.15	325
40期	2016.3	16.00 (記念配2.5円含)	3.6	5.08	315
41期予想 ^(注2)	2017.3	16.00	—	—	—

単元株数は100株となっております。

(注1) 利回りは年度末3月31日時点の株価で算出しております。

(注2) 第41期につきましては、普通配当として中間配当6円、期末配当予想10円となっております。

環境保全活動、CSR活動等の実施

環境保全活動

第一ゼミエコ★プロジェクト

当社では、“「**世界の子ども**」と「**地球の未来**」を創る”をテーマとする「ペットボトルキャップ回収」に取り組んでおり、キャップの売却益が「世界の子どもにワクチンを日本委員会」へワクチン代として全額寄付されます。

キャップ回収：4,726,797個

ワクチン：5,908人分

CO₂削減：37,223.5Kg

2016年9月13日



■キャップ800個
→ポリオワクチン1人分

■キャップ400個
→3.15kgのCO₂削減

校舎照明の切り替え

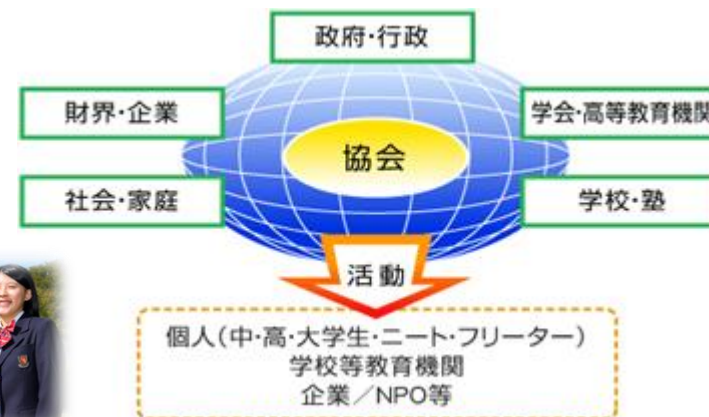
当社では、節電と環境保護のために全校舎でのLED照明切り替え活動を行っております。LEDは地球環境に貢献でき、電力使用量及びコストの大幅削減になる照明です。



社会貢献活動

キャリア教育事業を通じた活動

青少年と行政・企業・教育機関等とのキャリアネットワーク形成を推進する「一般社団法人 共生と共育ネットワーク」の受託業務において、収益事業としてではなく社会貢献活動の一環と位置付け、全国の保護者・団体等への講演・相談会を行うと同時に、カウンセラーの養成・研修を推進しております。





東証JASDAQ : 9696

お問合せ先 株式会社ウィザス 統括支援本部 経営企画チーム

【TEL】 06-6264-4205

【Mail】 webmaster@with-us.co.jp

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。